

令和5年度学校だより

学校教育目標 自主 責任 明朗



六中だより 7月号

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

全生徒数：675名

開校44年目



「授業改善」から大きな輪を創る
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 斉藤 直之

先日、横浜の路上で大道芸人を見かけました。パフォーマンスの内容は、ジャグリングです。私が通りかかったときは、まだ始まっておらず、そこでショーが行われることは、気づく人も少なく、多くの人が通り過ぎてしまうような状況でした。

ところが、突然、その場所で何気ない会話からショーが始まりました。初めは、人影もまばら、数人の観客です。3つの箱を操る「シガーボックス」。3つの棒を用いる「デビルスティック」。次々に目を見張る技が披露されました。そして、最後は「ファイヤーパフォーマンス」です。気がつくと、周りには多くの人の輪ができていました。わたしも夢中になってその芸に見入ってしまい、いつの間にか幾重にもなっている人の輪の最前列にいました。

注目すべきは、その話術です。そして、そのショーの構成力です。観衆を引きつける言葉の選び方、声のボリューム、選曲に至るまで、実に見事なものでした。気がつくと大きな拍手と歓声が。もちろん、大道芸なので料金を支払う義務はありません。しかし、その後、大きな拍手と共に、多くの方が帽子の中にお金を入れていました。

私も思わず、歓声を出すと共に、お金を入れていました。あっという間に帽子はお金でいっぱいになりました。後で、このパフォーマーを確認すると、各地の大道芸コンテストで何度もグランプリを受賞している全国でも有名なパフォーマーだったのです。納得しました。まさにプロの技を見ることができました。

現在の授業は、タブレットを用いた学習も増え、生徒同士が画面越しに意見を交わすことも可能です。AI型授業と言われ、教師には、教師主導型の授業からファシリテーターとしての役割が強く求められるようになってきました。

しかし、根本には、教師の「テクニック」があるということはあることのない事実です。どんなにAI技術が発達しても、授業を進めるには、その場のリアクションも含め、生徒の実態に即した対応が求められるからです。生徒は、観客ではありませんが、授業で生徒たちを魅了する話術、構成力は、教師の大切な技術です。生徒が勉強する課題をまずは、明確に提示。ここがポイント。そして、「できそうだな」「やってみたいな」と見通しをもたせ、次に、「自分でやってみさせる」さらに、その後は周りの友達とグループ等の輪になって、共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想につなげる。まさに「思考力・判断力・表現力等」を身につけさせる時間の確保です。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視した授業とも言えます。

上記のような内容を踏まえ、本校では1月の研究発表に向けて、日々、授業改善に取り組んでいる最中です。来校いただく際には、その視点に基づいて、授業参観をしていただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

第六中学校を包み込む地域という大きな輪が、より幾重にも、より大きなものになるよう、「美しく・温かく・常に前進」を合い言葉に、創造ある教育活動を推進して参ります。